

振り込め詐欺の絶無を目指して

一般社団法人 神戸銀行協会

振り込め詐欺防止啓発イベント

現金手交型の手口による「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」が後を絶たないなど、振り込め詐欺被害に歯止めがかからない状況にあるほか、金融商品等取引名目の特殊詐欺を中心に振り込め詐欺以外の特殊詐欺についても被害が継続しており、インターネット・バンキングにおける預金等の不正な払戻しの被害も急増している。



振り込め詐欺をはじめとする金融犯罪の撲滅に向け、「金融犯罪防止啓発活動」に取り組んでいる一般社団法人神戸銀行協会では、こうした状況を踏まえ、10月1日から11月1日までの1ヶ月を「振り込め詐欺等撲滅強化推進期間」と位置づけ、金融犯罪被害の未然防止に向けた活動を展開している。

本年10月17日、JR三宮駅周辺において生田、葺合、神戸水上の3警察署と共催で特殊詐欺防止キャンペーンを実施し、通行人に対して、チラシやティッシュペーパーを配布し、振り込め詐欺等に関する注意喚起を行うなどの活動を行っており、今後も継続的に実施していくとのこと。



2014.
December
vol.17

ひろげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート



自分たちができる 防犯活動を

～継続は力なり～

～ 緑ヶ丘連合自治会防犯グループ
(相生市)～



ひょうご地域安全 SOSキャッチ電話相談

日常生活の中で、地域の安全・安心にかかる異変に気づいたら、お気軽に「SOSキャッチ電話相談」に通報・相談してください



身近な異変に
気づいたら...

通報先に
迷ったら...

078-341-1324

いざッホー (月～金 9:00～16:00)
※電話相談のみ
祝日・12/29～1/3 除く
専門機関や警察などに迅速・適切につなぎ、早期の対応を図ります

兵庫県・兵庫県警察

一回防犯メモ

振り込め詐欺事件が後を絶ちません。だましのテクニックは巧妙化し、新たな手口の詐欺が発生しています。

犯罪に遭わないためにも日頃から振り込め詐欺について関心を持ち、被害に遭わない、遭わせない安全・安心なまちづくりに取り組みましょう。

詳しくは、協議会ホームページをご覧ください。
(ホームページURLは下記に記載)

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内

電話・FAX:078-362-1071

e-mail:hyogo@bouhan-suishin.gr.jp

URL:http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。



地域の連携で 犯罪抑止を目指す!

～ 青木防犯グループ (神戸市東灘区)～

マモリンレポートとは

- マモリンレポートでは、県民のみなさんによる地域安全まちづくり活動の参考となるよう、まちづくり防犯グループ等の特徴的な取組を紹介します。
- 「マモリン」とは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会のシンボルキャラクターです。





Report.1

自分たちにできる防犯活動を

～ 継続は力なり～

～ 緑ヶ丘連合自治会防犯グループ(相生市)～

健康管理を兼ねた週1回の夜間パトロール

毎週1回の午後7時から午後8時の間、4グループ各々がそれぞれの集合場所に集まり、そこからグループごとに徒歩で地区内の防犯パトロールを実施している。

状況によって、パトロール時間を変更したり、自転車のカゴに自治会が作成した「防犯パトロール中」と記載したラミネートを貼付するなどして創意工夫したパトロールを心がけている。



パトロールのほかにも、安全性の確保のための危険箇所の点検や、防犯灯などの点検等の防犯環境の整備なども行っている。毎週かかさずにパトロールしているため、ちょっとした異変にも気づきやすいという。

メンバーの平均年齢は65歳と高いため、毎週集まりパトロール活動することにより健康増進にもつながっている。メンバー内に「血圧が下がった」等の声も聞かれ、またコミュニケーションを図ることによって、認知症等の防止にも役立っているという。



住みやすい地域を目指して

以前地区内は、夕刻になると外は暗く、歩くのも危険であったことから、防犯灯の電球をLEDに切り換え、



自治会で管理している。現在は、夜も明るく、特に犯罪に巻き込まれやすい女性や子どもが安心して歩けるようになったという。

また、警察と連携して違法駐車への警告や、少年がたむろするコンビニエンスストア立ち寄り警戒等の活動を行っている。



このグループの、ここがポイント!!
無理な活動ではなく、持続可能な防犯活動を



会長 平田 幹和さん

会長 平田 幹和さんの声

近年子どもの連れ去り事案が後を絶ちません。

今、子どもを守る強い意識が地域に求められています。

これからは、地域や学校、警察が連携し、いくつかの対策を組み合わせ、一体となって子どもたちを見守る体制づくりを構築していきたいです。

グループの紹介 緑ヶ丘連合自治会防犯グループ

平成16年当時、子どもを巻き込んだ事案が増加しており、相生市でも不審情報が頻りに聞かれるようになっていた。

緑ヶ丘地区では4地区のグループごとに別れ、緑ヶ丘地区の4町会が地域一丸となった活動を推進するため、平成16年12月に「緑ヶ丘連合自治会防犯グループ」を結成した。

会則を策定して、運営・経費等の基盤の確立を図っている。設立当初から週1回のパトロールは欠かさず続けている。平成25年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。



Report.2

地域の連携で犯罪抑止を目指す!

目指す!

～ 青木防犯グループ(神戸市東灘区)～

子どもの見守り活動 ～コミュニケーションから生まれる防犯～

毎週火曜日、神戸市立本庄小学校において、学校関係者や東灘警察署と連携して、下校時見守り活動を行っている。子どもたちと気さくに会話をしたり声掛けをする姿や、突然じゃんけんを求めてくる児童にも笑顔で応じ、普段からの活動を通じて子どもたちとコミュニケーションが取れていることが窺えた。

下校時警戒の前後に青パトにて不審者や危険箇所の警戒にあたる。下校時は友達と一緒に学校から出ても、その後は一人になる子どもも多いため、気をつけて帰宅するよう声を掛けながらパトロールを行う。



また、4、5月には入学したばかりの新1年生の児童に対して、地域の危険箇所に立ち、正しい通学路を通るよう指導したり、通学路に潜む危険や通学ルール等を教えている。



わんわんパトロール ～愛犬と育む防犯～

登録メンバーは現在13名、飼犬は10匹。日々の散歩が活動の場であるが、毎月11日に隊員が青木文化センターに集結し、隊列を組んで青パトの後方支援で空き巣やひったくり、



子ども見守り等の注意を呼びかけながら啓発活動を実施している。

当日集まれるメンバーだけで実施するなど、無理のない形で行うようにしている。現在は犬及び活動員の高齢化が進んでおり、愛犬家の活動員を公募中とのこと。



このグループの、ここがポイント!!
自分たちの手で安全安心なまちを目指す



副会長 梶井 正之さん

副会長 梶井 正之さんの声

何事も良い状態を維持していくには大変な努力が必要です。

安全で安心して暮らせるまちを維持する為に、微力ではありますが常に実践する中心にいたいと思っています。

これからも関係機関との連携を図り、よりよい活動を目指していきます。

グループの紹介 青木防犯グループ

青木防犯グループは、空き巣やひったくり等の犯罪が増加したことをきっかけに、平成16年に趣旨に賛同する青木地区の各自治会を中心として発足し、防犯パトロールのほか地域の行事等を通じ徐々に防犯活動の範囲を広げ、現在では、青木地区に留まらず本庄小学校区を中心に幅広く活動をしている。

平成16年まちづくり防犯グループとして登録し、青木地区の自治会や関係団体の代表18名のメンバーがリーダーとなって、それぞれが工夫をしながら地域の安全まちづくりを推進している。

平成21年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。

